

OASIS 30(1)2020
[No.110 June 2020]

News and Communications of
The Japanese Association for
Arid Land Studies

おあしす

ジブチ共和国は「アフリカの角」に位置し、スエズ運河に繋がるバブ・エル・マンデブ海峡を航行するタンカー等を狙った海賊対策のため、自衛隊も拠点を設置している。2019年に作物の市場調査と遊牧民の生活調査に訪れた際に、ジブチ市およびアリサビエ周辺で撮影した写真です。



道中には広大な沙漠（大バラ砂漠）が広がる



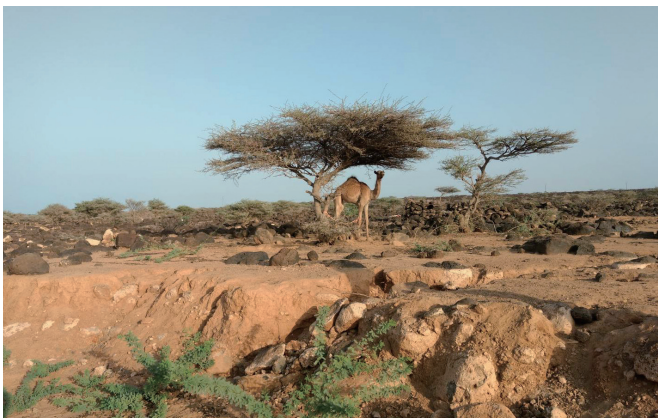
降雨後に発生したワジ



ジブチ市から南西に位置するアリサビエの町



遊牧民たちの生活



物資運搬用の家畜



エチオピアからの輸入品が多くを占めるマーケット

(写真提供：山本裕基)

日本沙漠学会・第31回学術大会一報告（大会実行委員会報告）

新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、2020年5月30（土）～31日（日）に岡山大学で開催予定であった日本沙漠学会第31回学術大会は中止いたしました。本学術大会で発表を予定していた講演につきましては、以下のように取り扱いました。

- ・発表（口頭発表、ポスター発表）：申し込みおよび要旨の提出のあった発表は、要旨集（PDF版）に掲載しその配布を以って発表されたものとして本学会での業績とする。

第31回学術大会講演要旨集公開ページ

<https://www.jaals.net/大会-シンポジウム/2020-大会-シンポジウム-1/>

- ・公開シンポジウム：今回予定していた内容は、別途大会とは独立した形で開催することを検討する。

第31回学術大会

期日：2020年5月30日（土）～31日（日）

場所：岡山大学

学術大会の概要

本大会では、口頭発表10件、ポスター発表10件の合計20件の発表がありました。研究対象地は、多い順に、中国3件、ウガンダ2件、サウジアラビア2件、日本2件、アフガニスタン1件、チュニジア1件、ジブチ共和国1件、セネガル1件、アフリカ全域1件、その他場所を特定しないもの6件で、様々な調査対象地ならびに分野のご発表をいただきました。

学会賞

2019年度日本沙漠学会賞は、残念ながら該当者がいませんでした。

ベストポスター賞

今大会においては、ベストポスター賞の選定は行われておりません。

公開シンポジウム

今大会では公開シンポジウムとして「乾燥地における植物の生理生態と緑化」と題して基調講演1件と講演4件を予定しておりました。世界各地の乾燥地における緑化植物の生理生態的な特性と合理的な緑化のあり方を議論することを目的に企画したものです。残念ながら今大会での開催は中止といたしますが、新型コロナウイルス禍が収まった後に、本学会のシンポジウムとして別途開催することを検討しております。開催の目途がたちましたらHPやメール等でアナウンスさせていただく予定です。

【第31回日本沙漠学会学術大会実行委員会委員長 三木直子】

The DT XIV International Conference on AridLand 延期のお知らせ

COVID-19の影響により、The DT XIV International Conference on Arid Land を2021年の秋以降に延期することになりました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

Web サイト：<https://dt14ical2020.jimdofree.com/>

The DT XIV International Conference on Arid Land 実行委員会

日本沙漠学会 2020 年度総会記事（総務報告）

◇第 33 回評議員会報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また全評議員が参加できる利点を考慮し、メール審議にて第 33 回評議員会が開催された。2020 年度総会資料提出議案について提案され、承認された。2019 年度学会賞の審査結果、および 2020～2022 年度日本沙漠学会役員案について報告された。詳細は「学会記事」掲載の議事録を参照されたい。

◇2020 年度日本沙漠学会総会報告・学会賞授与報告

第 31 回学術大会の中止に伴い、2020 年度総会が学会 HP とメールを利用して開催された。総会資料を本学会 HP に掲載するとともに、学会誌に同封して会員に配付された。質疑応答の期間を 5 月 18 日（月）～5 月 29 日（金）とした。この時点で全会員に通知されたものと判断し、5 月 18 日を以って総会の成立とした。審議ののち、採決の投票期間を 6 月 1 日（月）～6 月 5 日（金）とし、73 件の投票があった。すべての議題について、投票数の過半数の承認が得られた。また総会資料において、2019 年度は学会賞の該当者がなかったことが報告された。

◇総会資料

1. 2019 年度事業報告・決算報告・会計監査報告

(1) 2019 年度事業報告

1) 会務報告

- a. 会員 2020 年 3 月 31 日現在、会員数は以下の通り。

名誉会員：3 名

正会員：217 名（入会 4 名、退会 56 名）^{補足 1}

学生会員：25 名（入会 4 名、退会 19 名）

賛助会員：4 社

購読会員：5 機関（1 機関減）

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2019 年度総会

2019 年 5 月 25 日（土）、東京農業大学にて開催した。総会の概要を「おあしす」No. 106（2019 年 6 月）に掲載した。

(b) 評議員会（第 32 回）

2019 年 4 月 20 日（土）、日本橋公会堂において開催した。議事概要を「おあしす」No. 104（2019 年 6 月）に掲載した。

(c) 理事会

第 139～143 回理事会を開催した。第 139、140 回議事録を「おあしす」No. 106（2019 年 6 月）に、第 141 回議事録を「おあしす」No. 107（2019 年 9 月）に、第 142 回議事録を「おあしす」No. 108（2019 年 12 月）に、第 143 回議事録を「おあしす」No. 109（2020 年 3 月）に各々掲載した。

(d) 編集委員会

沙漠研究 Vol. 29 No. 1～Vol. 29 No. 4 を編集し発行した。

2019 年 5 月 24 日（金）東京農業大学世田谷キャンパスにて拡大編集委員会を開催した。さらに E-mail によって委員会内における審議を行った。

(e) 学会賞審査委員会

2019 年度の学会賞審査委員会をメール審議で行った。また 2019 年 5 月 25 日（土）、第 30 回学術大会におけるベストポスター賞の審査を行った。

(f) 創立 30 年記念事業推進委員会

創立 30 年記念式典・特別検討会の開催に関する諸活動を行った。

沙漠学事典の編纂に関する諸活動を行った。^{補足 2}

Review 論文掲載に関する諸活動を行った。

(g) 学会会員数減少への対策検討委員会

委員会内においてメールにより情報交換を行い、理事会にて対策案を提案した。

「展望論文、講座・解説への寄稿のお願い」をおあしす No. 108 に掲載した。

2) 刊行物

- a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」
Vol. 29 No. 1 (2019 年 6 月), Vol. 29 No. 2 (2019 年 9 月),
Vol. 29 No. 3 (2019 年 12 月), Vol. 29 No. 4 (2020 年 3 月)
- b. ニュースレター「おあしす」
No. 106 (2019 年 6 月), No. 107 (2019 年 9 月)
No. 108 (2019 年 12 月), No. 109 (2020 年 3 月)
- c. 日本沙漠学会講演要旨集
第 30 集 (第 30 回学術大会, 2019 年 5 月 25 日～5 月 26 日)
- d. 学会ホームページおよび会員へのメール配信による情報提供
学会ホームページによる活動状況に関する情報提供を行った。理事会, 分科会, シンポジウム, 関連学協会
の催事等の開催案内と報告等をタイムリーに掲載し更新した。

3) 講演会及び研究会等の開催

- a. 第 30 回学術大会
2019 年 5 月 25 日 (土)～5 月 26 日 (日), 東京農業大学において一般研究発表 (口頭発表 13 題, ポスター発
表 13 題) を行った。ポスター発表のうち 2 つがベストポスター賞を受賞した。学会賞 (1 名) および学術論
文賞 (1 名) の授与式ならびに受賞者講演会を行った。
- b. 創立 30 年記念式典・特別検討会
2019 年 5 月 25 日 (土), 東京農業大学において, 日本地理学会会長 村山祐司氏, 日本緑化工学会会長 福永
健司氏 (代理: 日本緑化工学会理事 橘隆一氏), 日本熱帯農業学会会長 縄田栄治氏 (代理: 日本熱帯農業学
会副会長 志和地弘信氏), 日本砂丘学会会長 山本定博氏を来賓として創立 30 年記念式典を行った。式典では,
特別顕彰「功労賞」を 13 名に授与し, 感謝状を 5 社および 1 名に贈呈した。また北村義信会員による記念講
演を行った。
2019 年 5 月 26 日 (日), 東京農業大学において特別検討会「新たな沙漠研究を展望する」を開催した。
- c. 2019 年度秋季シンポジウム
2019 年 10 月 20 日 (日), 沙漠誌分科会による企画で開催した (沙漠誌分科会の活動報告を参照)。
- d. Desert Technology XIV 開催準備
2020 年 9 月 8 日 (火)～9 月 11 日 (金), 静岡県賀茂郡松崎町にて開催予定。
新型コロナウイルス感染症対策を鑑みて対応を検討中。
- e. その他
なし

4) 分科会等の活動

- a. 沙漠工学分科会: (2020 年 3 月 31 日現在, 登録者数: 147 名)
会 長: 田島 淳 (東京農業大学)
幹 事: 鈴木伸治 (東京農業大学)
連絡先 (事務局): 〒 156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1
東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科
Tel: 03-5477-2351, Fax: 03-5477-2620
E-mail: s4suzuki@nodai.ac.jp
活動実績: 2020 年 2 月に第 33 回講演会を行う予定であったが, 新型コロナウイルスの感染予防のため, 開催
を見送った。
- b. 乾燥地農学分科会: (2020 年 3 月 31 日現在, 登録者数: 184 名)
会 長: 石川祐一 (秋田県立大学)
連絡先 (事務局): 〒 914-0041 東京都町田市玉川学園 8-3-23
(株) アースアンドヒューマンコーポレーション気付
FAX: 018-872-1677
E-mail: owner-cadal@ijnet.or.jp
活動実績: (1) 2019 年 12 月 5 日, 第 28 回講演会「沙漠化対処のまたまた温故知新」のテーマで開催した。
話題提供者と演題は石川祐一 (秋田県立大学)「沙漠化の現状」, 田中賢治 (国土防災技術 (株)
執行役員)「フルボ酸等の高分子化合物の利用」, 逃目 (ニゲメ) 英正 ((株) デザインウォーター「淡

水化技術」, 飯田哲也 (認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所)「太陽光発電の現状と営農型ソーラーの乾燥地利用の可能性」である (以上, 敬称略). (2) 学会ニューズレター「おあしす」内の記事として分科会機関紙「CADAL ニュース」第 65 号を掲載した. (3) 分科会の活動状況をさらに広く周知するための情報発信法として, 分科会 Web ページを学会ホームページ下に移設した. (4) メーリングリストを開設・運用している. 関連する講演会・シンポジウムの開催および参加者の情報提供等に利用されている.

c. 沙漠誌分科会: (2020 年 3 月 31 日現在, 登録者数: 63 名)

会 長: 縄田浩志 (秋田大学国際資源学部)

連絡先 (事務局): 〒 010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号 (縄田研究室)

E-mail: sabakushi.c@gmail.com

活動実績: (1) 2019 年 10 月 20 日 (日), 横浜情報文化センター「情文ホール」において, 秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用: サウディ・アラビア, ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」(横浜市)を開催した. (2) 2020 年 3 月 30 日 (月), 沙漠誌分科会総会を, 新型コロナウイルス感染症対応のためメール審議にて開催した. (3) 沙漠研究の特集論文として, 2018 年 10 月開催の研究会「サウディアラビア, ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集を企画, 投稿, 査読中.

d. 風送ダスト研究会: (2020 年 3 月 31 日現在, 会員数: 12 名)

会 長: 黒崎泰典 (鳥取大学)

連絡先 (事務局): 〒 680-0001 鳥取市浜坂 1390

鳥取大学 乾燥地研究センター

TEL: 0857-21-7032, FAX: 0857-29-6199

活動実績: 2019 年 5 月 29 日, 東京大学農学部 1 号館生圏システム学専攻会議室において, 研究集会 “Researches for Dust Emission in East Asia” を開催した. 発表件数は 3 件, 参加者数は 10 名であった. 当日のプログラムは以下の通り. (1) Field observation and 0-dimensional model simulation of sand saltation at Tsogt-Ovoo, Mongolia: Mainly focusing on stone effect (B. Buyantogtokh, Tottori Univ.), (2) Inter-annual variation of aeolian erodibility at Tsogt-Ovoo, Mongolia: Integration of ecosystem modeling and observational evidence (K. Kong, Nagoya Univ.), (3) Effect of vegetation on dust emission in East Asian rangeland (A. Kono, The Univ. of Tokyo).

5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

- a. 日本地球惑星科学連合の活動に協力.
- b. 地理学連携機構・地理関連学会連合への協力.

補足:

1. 3 年以上会費が未納だった 46 名の会員 (正会員 38 名, 学生会員 8 名) について, 督促後も会費の納入がなかったため, 2019 年 10 月末日を以って退会処理をしました. 退会者にはこれらの人数が含まれています.
2. 「沙漠学事典」について, 2020 年 7 月末に出版を予定しています.

(2) 2019 年度決算報告

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	費目	決算額	予算額	対予算額増減	備考
収入の部	繰越金	7,153,442	7,153,442		
	会費	2,777,000	2,632,000	145,000	
	1) 入会金	9,000	20,000	-11,000	正会員5名 学生会員4名
	2) 正会員費	2,528,000	2,152,000	376,000	181名＋前受過年度135件
	3) 学生会員費	90,000	200,000	-110,000	9名＋前受過年度9件
	4) 購読会員費	50,000	60,000	-10,000	5件
	5) 賛助会員費	100,000	200,000	-100,000	2社
	助成金	0	0	0	
	その他収入	396,809	370,000	26,809	
	1) 出版費	286,000	360,000	-74,000	
	2) その他	110,809	10,000	100,809	沙漠の事典印税、利息他、DT立替代金
支出の部	(小計)	3,173,809	3,002,000	171,809	
	合計	10,327,251	10,155,442	171,809	
	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合年会費
	学会誌発行費	2,766,228	1,700,000	1,066,228	
	1) 印刷費	2,660,200	1,600,000	1,060,200	Vol. 28(3), Vol. 28(4), Vol. 29(1), Vol. 29(2)+DT特別号
	2) 発送費	106,028	100,000	6,028	発送手数料・メール便
	活動準備金	442,778	505,000	-62,222	
	1) 大会預託金	200,000	200,000	0	第30回大会東京農大、第31回大会岡山大学
	2) シンポジウム預託金	90,720	100,000	-9,280	秋季シンポジウム(横浜情報文化センター)
	3) 分科会交付金	152,058	205,000	-52,942	分科会(乾燥地農学・沙漠誌分科会)
	表彰費	2,500	20,000	-17,500	
	会議費	11,512	12,000	-488	理事会会場費
	事務運営費	267,261	510,000	-242,739	
	1) 通信・輸送費	91,185	100,000	-8,815	振込手数料 会費請求等郵送代
	2) 印刷費	115,282	100,000	15,282	総会・会議資料 選挙関連印刷発送費
	3) 事務費	794	50,000	-49,206	消耗品費用等
	4) 交通費	60,000	200,000	-140,000	理事会旅費
	5) 諸雑費	0	60,000	-60,000	Webサーバー管理費等
	学会業務等外部委託費	498,960	498,960	0	
	30年記念事業準備金	426,888	1,500,000	-1,073,112	
	予備費	0	200,000	-200,000	
	(小計)	4,426,127	4,955,960	-529,833	
	次年度繰越金	5,901,124	5,199,482	701,642	
	合計	10,327,251	10,155,442	171,809	

(3) 貸借対照表および監査報告

貸 借 対 照 表

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
郵便振込口座	4,153,262	借入金	0
三菱UFJ銀行	1,721,806	次期繰越金	5,901,124
現金	26,056		
合 計	5,901,124	合 計	5,901,124

会 計 監 査 報 告

日本沙漠学会2019年度会計報告に基づき、帳簿・帳票類を監査したところ、適正に運営されたことを確認いたしました。

2020年3月31日

日本沙漠学会 監事 田中 徹

日本沙漠学会 監事 矢沢 勇樹

2. 2020～2022 年度日本沙漠学会役員選出結果の報告および新規役員の提案

会 長 森尾貴広

副 会 長 鈴木伸治 田中 徹

監 事 渡邊文雄 豊田裕道

理 事 (総務担当) 島田沢彦 田島 淳

(財務担当) 高橋新平 矢沢勇樹[○]

(編集担当) 川端良子 小島紀徳

(企画担当) 小長谷有紀 石川祐一

(学会賞担当) 渡邊三津子 的場泰信[○]

評 議 員 安部 豊 石川祐一 入江光輝 牛木久雄 川端良子

小島紀徳 児玉香菜子 小長谷有紀 酒井裕司 真田篤史

篠原 卓 島田沢彦 白石雅美 菅沼秀樹 鈴木伸治

高橋新平 田島 淳 田中 徹[○] 豊田裕道 縄田浩志平田昌弘 藤巻晴行 的場泰信[○] 三木直子[○] 森尾貴広森 卓[○] 矢沢勇樹[○] 依田清胤 渡邊文雄 渡邊三津子

顧 問 安部征雄 森 卓

理事と評議員のうち、[○]は会長選任。それ以外は選挙当選者。顧問は理事会で選任。

委 員 会 (参考, 2020 年 4 月 11 日現在) ^{補足 3}

総務委員会 (*1 委員長)

島田沢彦 (Web Master) *1 田島 淳 真田篤史 篠原 卓

財務委員会 (*1 委員長)

高橋新平 *1 矢沢勇樹

編集委員会 (*¹ 委員長 *² 名誉委員長 *³ 副委員長 *⁴ おあしす担当)
川端良子 *¹ 安部征雄 *² 小島紀徳 *² 酒井裕司 *³ 安部 豊
島田沢彦 *⁴ 田島 淳 *⁴

企画委員会 (*¹ 委員長)

小長谷有紀 *¹ 石川祐一

学会賞審査委員会 (*¹ 委員長 *² 幹事)

渡邊三津子 *¹ 的場泰信 *²

分科会長 (*¹ 沙漠工学 *² 乾燥地農学 *³ 沙漠誌 *⁴ 風送ダスト)

田島 淳 *¹ 石川祐一 *² 縄田浩志 *³ 黒崎泰典 *⁴

3. 2020 年度事業計画 (案)・予算 (案)

(1) 2020 年度事業計画 (案)

1) 会務

a. 会員 2020 年 4 月 1 日現在, 会員数は以下の通り.

名誉会員: 3 名 正 会 員: 217 名

学生会員: 25 名 賛助会員: 4 社

購読会員: 5 機関

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2020 年度総会

2020 年 5 月 18 日 (月), 学会 HP およびメールを利用して開催 *.

(b) 評議員会 (第 33 回)

2020 年 4 月 13 日 (月) メール会議にて開催 *.

(c) 理事会 (第 144 回)

2020 年 4 月 11 日 (土) Web 会議にて開催 *. 他 3 回の開催 *.

(d) 総務委員会 適宜開催する.

(e) 財務委員会 適宜開催する.

(f) 編集委員会

適宜開催する. 拡大編集委員会は, 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い開催しない.

学会誌の冊子体の在り方, および Web 書誌データベースへの掲載について検討する.

(g) 企画委員会 適宜開催する.

(h) 学会賞審査委員会

適宜開催する. 第 31 回学術大会におけるベストポスター賞は, 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い設けない.

(i) 創立 30 年記念事業推進委員会 適宜開催する.

(j) 学会会員数減少への対策検討委員会, 外部資金獲得のためのタスクフォース
適宜開催する.

(k) 会則等改定委員会 会長の要請により適宜開催する.

2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

J-Stage への掲載 (4 回), 合本の刊行 (1 回)^{補足 4}

Vol. 30 No. 1 (2020 年 6 月), Vol. 30 No. 2 (2020 年 9 月),

Vol. 30 No. 3 (2020 年 12 月), Vol. 30 No. 4 (2021 年 3 月)

b. ニュースレター「おあしす」

学会 HP に掲載 (4 回)

No. 110 (2020 年 6 月), No. 112 (2020 年 9 月),

No. 113 (2020 年 12 月), No. 114 (2021 年 3 月)

c. 日本沙漠学会講演要旨集

第 31 集 (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い, 学会 HP に掲載する)*

d. Web ニュースレターの適宜発行

e. 日本沙漠学会ホームページの適宜更新, 入会案内の更新.

3) 講演会の開催

a. 第31回学術大会*

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い中止する。

b. 秋季シンポジウム

2020年11月、乾燥地農学分科会による企画で開催予定。

c. Desert Technology XIV 開催準備。

新型コロナウイルス感染症対策のため、当初の予定（2020年9月8日（火）～9月11日（金））を延期し、2021年秋に静岡県賀茂郡松崎町にての開催を進める。

d. その他

適宜ミニシンポジウムを開催。

4) 分科会講演会等の活動

a. 沙漠工学分科会

2020年12月ごろに第33回沙漠工学分科会講演会を開催予定。

分科会会員と関連団体組織等との交流（共同研究等）。

b. 乾燥地農学分科会

2020年11月に第29回乾燥地農学講演会を開催（学会秋季シンポジウムと共催予定）

分科会機関誌「CADAL ニュース」第66号をおおしすに掲載

c. 沙漠誌分科会

2020年5月（予定）、新型コロナウイルス感染症の影響により延期した研究会「フリー&オープンソースソフトウェアを用いたフィールドワークと分析の実践」（東京都・板橋区）を主催する。

7月23日（木）～7月29日（水）モンゴル、ホスタイ開催国際ワークショップ「中央アジア牧畜文化の再評価」を共催する。

沙漠研究の特集論文として、2018年10月開催の研究会「サウディアラビア、ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集への投稿を継続。2019年度秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用：サウディ・アラビア、ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」に関する小特集を企画、投稿。2020年7月開催予定の国際ワークショップ「中央アジア牧畜文化の再評価」に関する小特集を企画、投稿。

d. 風送ダスト研究会

風送ダストに関連する研究会を1～2回程度開催する。

日本地球惑星科学連合2021年大会（JpGU Meeting 2021）において、日本沙漠学会学協会セッションとしての風送ダストに関連するセッションの提案を計画している。

5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

a. 日本地球惑星科学連合の活動に協力。

JpGU-AGU2020大会（Web上での開催）における学協会セッションを風送ダスト研究会の企画として共催。

b. 地理学連携機構・地理関連学会連合活動への協力。

c. その他国内外の講演会等への協力・関係機関との交流及び協力。

6) その他本会の目的達成のための事業

必要な事業を随時開催。

補足：

3. 委員会について、資料には参考として挙げていますが、現時点で候補として挙がっているメンバーです。総会で役員が承認された後、必要なメンバーにて委員会を構成します。

4. 財政立て直しの一環として支出を抑える観点から、冊子体は4号分を合本して、毎年度3月に会員に届けることとします。今後の学会誌の発行は基本的にはオンラインで行いますが、冊子体での購読を希望する会員や冊子体を必要とされる会員が居られることを考慮し、4号分を合本として年1回発行し、郵送します。オンライン化の最も大きな目的は、学会の財務状況の改善です。今後冊子体の発行に関わる経費を精査し、支出削減を目指します。その他のメリットとしては、掲載論文等の検索が容易になることです。これは現在もJ-stageで実施していることですが、今後は学会誌の発行と同時に可能となります。また、将来的には投稿料の減額の可能性も検討いたします。さらにHPの活用が盛んになると考えておりますので、HP上での学会活動の活性化が図れます。

冊子体がオンライン出版と同時に入手出来ないということになりますが、この点は会員へのサービスを向上させることで、会員である事の特典感を維持していく予定です。掲載論文のアクセスが容易になることで、論文の質が向上し、学会誌の評価も高くなることが予想されます。したがって、このオンライン化は、日本の沙漠学研究を発展させ、世界をリードする学会にするための第一歩と考えております。

(2) 2019 年度予算 (案)

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	費目	予算額	前年度決算額	対前年度額増減	備考
収入の部	繰越金	5,901,124	7,153,442	-	
	会費	2,221,000	2,777,000	-556,000	
	1) 入会金	10,000	9,000	1,000	新規会員10名想定
	2) 正会員費	1,736,000	2,528,000	-792,000	正会員数(2020.4.1現在)217名
	3) 学生会員費	125,000	90,000	35,000	学生会員数(2020.4.1現在)25名
	4) 購読会員費	50,000	50,000	0	5件
	5) 賛助会員費	300,000	100,000	200,000	4社(6件)
	その他収入	370,000	396,809	-26,809	
	1) 出版費	360,000	286,000	74,000	原著論文2報×4号
	2) その他	10,000	110,809	-100,809	利息、沙漠の辞典印税等
	(小計)	2,591,000	3,173,809	-582,809	
	合計	8,492,124	10,327,251	-1,835,127	
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合団体年会費
	学会誌発行費	1,425,000	2,766,228	-1,341,228	
	1) 印刷費	1,400,000	2,660,200	-1,260,200	「沙漠研究」年間4号発行 (冊子体として年一回合本作成)
	2) 発送費	25,000	106,028	-81,028	発送手数料・メール便・郵送料
	活動準備金	305,000	442,778	-137,778	
	1) 大会預託金	0	200,000	-200,000	第31回大会預託金は2019年度支出済みのため
	2) シンポジウム預託金	100,000	90,720	9,280	シンポジウム開催経費
	3) 分科会交付金	205,000	152,058	52,942	3分科会
	表彰費	20,000	2,500	17,500	学術賞表彰状作成
	会議費	12,000	11,512	488	評議員会・理事会経費
	事務運営費	500,000	267,261	232,739	
	1) 通信・輸送費	100,000	91,185	8,815	振込手数料 会費請求等郵送代
	2) 印刷費	100,000	115,282	-15,282	総会・会議資料
	3) 事務費	50,000	794	49,206	消耗品費等
	4) 交通費	200,000	60,000	140,000	
	5) 諸雑費	50,000	0	50,000	Webサーバー管理費等
	学会業務等外部委託費	498,960	498,960	0	
	30年記念事業準備金	0	426,888	-426,888	
	予備費	100,000	0	100,000	
	(小計)	2,870,960	4,426,127	-1,555,167	
	次年度繰越金	5,621,164	5,901,124	-279,960	
	合計	8,492,124	10,327,251	-1,835,127	

4. 学会賞審査報告

該当者なし。

5. その他

2017～2019 年度日本沙漠学会役員

会 長	吉川 賢				
副 会 長	渡邊文雄	森尾貴広			
監 事	矢沢勇樹	田中 徹			
理 事 (総務担当)	鈴木伸治	島田沢彦			
(財務担当)	中村 徹	高橋新平			
(編集担当)	酒井裕司	小島紀徳			
(企画担当)	窪田順平	小長谷有紀			
(学会賞担当)	豊田裕道	渡邊三津子			
評 議 員	石川祐一	今村 薫	岩本 彰	牛木久雄	小長谷有紀
	川端良子	北村義信	窪田順平	小島紀徳	児玉香菜子
	酒井裕司	島田沢彦	白石雅美	菅沼秀樹	鈴木伸治
	高橋新平	田島 淳	橘 隆一	豊田裕道	中村 徹
	縄田浩志	平田昌弘	藤巻晴行	的場泰信	三木直子
	森尾貴広	矢沢勇樹	吉川 賢	渡邊文雄	渡邊三津子
顧 問	安部征雄	岩本 彰			

委 員 会 (参考)

総務委員会 (*1 委員長)

鈴木伸治 *1 島田沢彦 (Web Master) 橘 隆一

財務委員会 (*1 委員長)

高橋新平 *1 中村 徹

編集委員会 (*1 委員長 *2 名誉委員長 *3 副委員長 *4 おあしす担当)

酒井裕司 *1 安部征雄 *2 小島紀徳 *2 川端良子 *3 石川祐一

石山 隆 入江光輝 甲斐憲次 加藤 茂 北村義信

斉藤昌宏 佐藤周一 島田沢彦 *4 周 建中 白石雅美

菅沼秀樹 鈴木伸治 *4 高橋新平 豊田裕道 中村 徹

縄田浩志 平田昌弘 的場泰信 三木直子 森尾貴広

吉川 賢 渡邊三津子

企画委員会 (*1 委員長)

窪田順平 *1 小長谷有紀

学会賞審査委員会 (*1 委員長 *2 幹事)

豊田裕道 *1 渡邊三津子 *2 上原有恒 平田昌弘

分科会長 (*1 沙漠工学 *2 乾燥地農学 *3 沙漠誌 *4 風送ダスト)

田島 淳 *1 石川祐一 *2 縄田浩志 *3 黒崎泰典 *4

日本沙漠学会名誉会員

安部征雄 都留信也 真木太一

海外調査への新型コロナの影響についてのアンケートへの回答のお願い

日本沙漠学会会員各位

日本沙漠学会 会長 森尾 貴広
企画担当理事 小長谷有紀・石川祐一

下記の通り、海外調査への新型コロナの影響についてのアンケートを実施いたします。つきましては、積極的なご回答をよろしくお願い申し上げます。

記

1. アンケート実施の背景

新型コロナウイルスの拡大に伴い、人の移動、とくに海外への出入国は3月以降大幅に制限されました。7月現在でも出入国制限の解除は進んでいない状況です。本学会の特徴から海外に調査対象地を持つ本学会会員が多く、研究や業務の遂行に支障をきたす事例が増大しているのではと危惧しています。そこで、学会として本会員の海外調査に対する新型コロナの影響を把握し、現況およびその対応策を共有することで、学会員への新型コロナ下での海外調査・事業推進に対する一助になればと考え、web上でのアンケート実施を企画しました。

2. アンケートの目的

- 1) 新型コロナによって本会員の海外調査・事業がどれぐらい影響を受けているのか把握すること
- 2) 現地訪問の代わりにとっている対応策を把握すること
- 3) 1)、2)を事例として共有することで、学会員が新型コロナ対策を行う際の参考としてもらうこと

3. アンケートの実施方法と対象範囲について

- ・学会 web サイトでのオンライン集計
URL: <https://www.jaals.net/> 会員専用ページ /
パスワード：別途メールでお知らせいたします
- ・期間：7/22～8/31
- ・対象：回答可能なのは学会員のみとします。学会員が個人的に収集した情報を伝聞として回答することは構いません。

4. 回答データの取扱と結果の公開方法について

- ・学会員資格確認のため、個人名及び学会番号の入力をお願いしておりますが、データの解析等には用いません。
- ・収集したデータは、個人が特定できる情報については修正の上公開いたします。
- ・データの公開については、集計・最低限の解析を行った後、事例集として9月中旬に学会 web サイトで公開を予定しております（パスワード等で公開を会員に限定）。
- ・より詳細な分析・考察を行い、学会誌「沙漠研究」内での総説・小特集等で会員向けに情報提供を行います。その際、プロジェクト名・事業名の公表に差し支えのある場合は「A プロジェクト」「B 事業」のように、特定出ないように記号化いたします。

2020 年度学会賞受賞候補者推薦のお願い

日本沙漠学会正会員各位

日本沙漠学会 会長 森尾 貴広
学会賞審査委員会委員長 渡邊三津子

日本沙漠学会細則第 34 条にもとづき、日本沙漠学会賞（学会賞，学術論文賞，進歩賞，奨励賞の 4 賞）を公募いたします。つきましては、学会賞受賞候補者を下記の要領でご推薦下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会学会賞 : 本学会において学術かつ事業活動に顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞 : 「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (3) 日本沙漠学会進歩賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する技術的，実践的な業績を挙げた会員または会員を含む団体に授与する。
- (4) 日本沙漠学会奨励賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は，原則として当該年度において 35 歳以下の会員とする。なお，35 歳を超えた会員を奨励賞に推薦する場合には，その理由書を添付する。

2. 推薦期限 2021 年 2 月 27 日（土） 当日消印有効

3. 推薦方法 以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に郵送して下さい。なお，推薦には「自薦」は含まれません。

- (1) 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞を推薦する場合
 - 様式 1 の推薦書 1 部
 - 推薦に関する資料 1 組
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞を推薦する場合
 - 様式 2 の推薦書 1 部
 - 推薦に関する業績 1 組

4. 宛先（照会先）

日本沙漠学会 学会賞審査委員会 幹事 的場泰信
E-mail : matobaji@icloud.com

5. その他

応募された書類は返却しませんので，必要な場合は写しを保管下さい。

なお，過去の受賞者については日本沙漠学会ホームページ（<http://www.jaals.net/>）をご参照下さい。

様式 1

(日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞用) 令和 年 月 日

日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

様式 2

(日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞用) 令和 年 月 日

日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

著者名(共著の場合は全員)、題目、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載すること。

-----記入上の注意-----

- 1) 書 式 A4 縦置横書き, 明朝体 12 ポイント, 上下左右マージン 2.0cm 以上, 1 行文字数 35~40 字, 1 ページ
行数 35~40 行
- 2) 被推薦者 被推薦者が団体の場合は団体名およびその代表者を記入して下さい。
- 3) 推薦理由 箇条書きの場合は約 100 字以内で説明して下さい。
箇条書きでない場合は全体を 400 字程度で記載して下さい。
- 4) 様式 1 「日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞」の場合 5. 資料はコピーなどを添付して下さい。
- 5) 様式 2 「日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞」の場合 5. 業績リストは研究業績の別刷り(コピー
可)を添付して下さい。

学会賞審査委員会からのお知らせ 日本沙漠学会若手会員のみなさんへ

学会賞担当理事 渡邊 三津子
的場 泰信

日本沙漠学会では「奨励賞」「ベストポスター賞」など、若手研究者のみなさんを対象とした賞を設けています。

奨励賞

- 乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与されます。
※ 『沙漠研究』に掲載された論文や研究業績に基づき、学会員の推薦を受けて審査されます。
- 満35歳以下の若手会員を対象としています。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

ベスト ポスター 賞

- 研究内容、表現や説明技術、熱意などが優れているポスター発表に対して授与されます。
- 学術大会でポスター発表をする満35歳以下の学部生、大学院生と大学院修了・中退後3年未満の会員が対象となります。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

メリット① 自分の研究について知ってもらえる

受賞者の研究は、学術大会だけでなくホームページなどで紹介されるので自分の研究について多くの人に知ってもらえる機会になります。

メリット② 履歴書に書ける

「奨励賞」「ベストポスター賞」をもらったら、履歴書の賞罰の欄に書くことができるので、就職活動にも役立ちます。

日本沙漠学会に所属する若手会員の皆さん
全員にチャンスがあります！

学術大会で発表した人は、ぜひ
沙漠研究に論文を投稿しましょう！

【問い合わせ先】日本沙漠学会 学会賞審査委員／E-mail：jaals@kyouritsu-online.co.jp

「沙漠学事典」の発刊のご案内

日本沙漠学会会員各位

日本沙漠学会 会長 森尾 貴広
「沙漠学事典」編集代表 吉川 賢
編集幹事 石川祐一

日本沙漠学会 30 周年記念事業の一環として編集を進めておりました「沙漠学事典」が下記の通り刊行の運びとなりました。執筆・編集にご協力いただいた会員諸氏には改めてお礼申し上げます。是非所属機関でのご購入を検討いただきたくよろしくお願い申し上げます。

記

1. 「沙漠学事典」の概要

著者名 日本沙漠学会 編
発行元 丸善出版
発行年月日 2020 年 07 月
判型 A5 210 × 148
ページ数 512 ページ
ISBN 978-4-621-30517-1
C コード 3525
NDC コード 454

2. 内容紹介

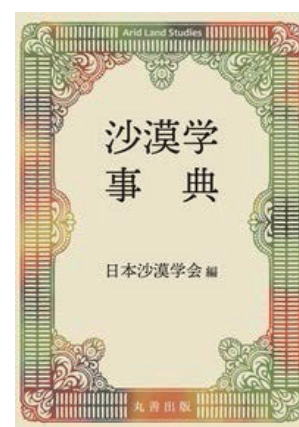
日本沙漠学会設立 30 年記念図書。沙漠学とは「砂漠を含む乾燥地の環境を知り、さらに人々の社会と暮らしを学び、それら全てを守る」学問。本書では日本沙漠学会が総力を結集し、沙漠学に関する知見約 220 項目を見開きで解説。

3. 目次

- 1 章 砂漠とは
- 2 章 砂漠の自然環境
- 3 章 乾燥地の生物
- 4 章 砂漠の生活と文化
- 5 章 砂漠の資源と経済活動
- 6 章 砂漠化とその対策

4. 関連 URL

https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/?book_no=303865



学会記事

日日本沙漠学会第 144 回理事会 議事録

日 時：2020 年 4 月 11 日（土）13：00～17：00

場 所：Web 会議にて開催した。

出 席：吉川 賢（会長）、森尾貴広、渡邊文雄（以上、副会長）、田中 徹、矢沢勇樹（以上、監事）、窪田順平、小島紀徳、小長谷有紀、酒井裕司、島田沢彦、鈴木伸治、高橋新平、豊田裕道、渡邊三津子（以上、理事）、安部征雄（顧問）、川端良子（副編集委員長）、石川祐一、田島 淳、齋藤哲司（以上、オブザーバー）

委任状：中村 徹

I. 審議事項

1. 2020 年度総会への提出議案について

- 資料に基づき、以下の議題について審議し、承認した。① 2019 年度事業報告（鈴木総務担当理事より報告）、② 2019 年度決算報告（高橋財務担当理事より報告）、③ 2019 年度会計監査報告（矢沢監事より報告）、④ 2020～2022 年度日本沙漠学会役員案（審議事項 3 に同じ）、⑤ 2020 年度事業計画（鈴木総務担当理事より報告）、⑥ 2020 年度予算案（高橋財務担当理事より報告）
- 会計報告において、2020 年度第 31 回学術大会預託金の 2019 年度内での執行についての補足説明があった。
- 2019 年度の退会者数、正会員 56 名、学生会員 19 名のうち、3 年以上会費が未納だったことにより退会とした 46 名の会員（正会員 38 名、学生会員 8 名、2019 年 10 月末日）を含んでいることを確認した（第 142 回理事会議事録参照）。
- 学会誌「沙漠研究」について、各号をオンライン（J-STAGE）で発行し（現行通り）、冊子体は 4 号分を合本して毎年度 3 月に発行することを提案する。「おあしす」は、年 4 回、オンライン（学会 HP）での発行とする。

2. 2019 年度学会賞の審査報告

- 審査委員長の豊田理事から、該当者なしとの報告があり、承認された。

3. 2020～2022 年度日本沙漠学会役員案について

- 選挙管理委員長の鈴木理事から、選挙結果および経緯について説明がなされ、役員案を確認した。
- 新理事会の監事について、渡邊副会長と豊田理事が推薦された。
- 総務委員会、編集委員会、学会賞審査委員会の委員について、総会にて役員案が承認された後、決定する。
- 安部征雄会員に顧問の継続を依頼するとともに、森

卓会員に顧問への就任を委嘱した。

4. 2020 年度第 31 回学術大会について

- 現時点での COVID-19 の発生拡大状況を鑑み、第 31 回学術大会は開催しないこととした。
- 要旨の提出のあった発表については、要旨集の配布（PDF 版）を以て、発表業績と認める（ポスター賞は設けない）。
- 公開シンポジウムの開催も中止とし、大会とは独立した開催を目指して検討を行うこととする。大会開催前日および期間中に予定していた拡大編集委員会と理事会も開催しない。

5. 第 33 回評議員会について

- COVID-19 感染拡大、および通信の不具合を避けるため、メール会議とすることとした。議題の提示、資料送付、アナウンスを 4 月 13（月）に行う。メール上での会議（質疑応答）期間を 4 月 13 日（月）～4 月 17 日（金）とし、「全員に返信」で質疑応答に対応する。
- 採決期間を 4 月 18 日（土）～4 月 22 日（水）とし、過半数の賛同が得られれば採択とする。

6. 2020 年度総会の開催について

- 2020 年度第 31 回学術大会の中止に伴い、学会 HP とメールを利用した開催とする。
- 総会資料を本学会 HP に掲載する。また、学会誌に同封し、郵送にて配付する。
- 質疑応答の期間を 5 月 18 日（月）～5 月 29 日（金）とする。この時点で全会員に通知されたものと判断し、5 月 18 日を以て総会は成立したものとする。
- 質疑の受付はメールで事務局宛とする。質問は、質問者の名前を伏せ、回答とともに学会 HP に掲載する。
- 採決は、専用フォームを設けて行う。重複や、議決権のない方の投票を避けるため、記名の上で承認、非承認、棄権の別を投票する。投票期間を、6 月 1 日（月）～6 月 5 日（金）とする。
- 投票総数の過半数を以て議決とする。投票のなかった場合は委任状とみなす。

II. 報告事項

1. 投稿論文審査状況報告

- 投稿論文審査状況とレビュー論文の依頼の進捗、および沙漠研究 29 巻 4 号の刊行と 30 巻 1 号の編集の進捗について報告があった。また、レビュー論文について依頼中である旨報告があった。なお、今まで執筆していただいた研究者には、編集委員（International）への就任を依頼した。

2. 創立 30 年記念事業

- ・ 沙漠学事典の編集委員会を 4 月 11 日に行い、報告がなされた。7 月末に出版予定。
- ・ 状況、レビュー論文（報告事項 1.）

3. Desert Technology XIV (DTXIV) (2020/9/8～9/11, 静岡県賀茂郡松崎町) について

- ・ IDC に延期（1 年程度）を提案する。2021 年オリンピック・パラリンピック終了後に開催予定である。

Ⅲ. その他

- ・ 今後の学術大会・シンポジウムの日程と開催地を確認した。2020 年度の秋季シンポジウムを、乾燥地農学分科会の企画により行う（11 月）。2021 年度の学術大会（第 32 回）は酪農学園大学での開催を予定。2022 年度の学術大会（第 33 回）を宮崎大学での開催で調整中。
- ・ 図書「砂漠考」（著者：徳岡正三氏，研成社）についての書評を石川会員に依頼した。
- ・ 第 33 回評議員会：メール会議で開催。第 145 回理事会：2020 年 7 月の予定。

日本沙漠学会第 33 回評議員会（メール会議）議事録

審議期間：2020 年 4 月 13 日（月）～4 月 17 日（金）

採決期間：2020 年 4 月 18 日（土）～4 月 22 日（水）

現評議員：吉川 賢（会長）、森尾貴広、渡邊文雄（以上、副会長）、矢沢勇樹（監事）、窪田順平、小島紀徳、小長谷有紀、酒井裕司、島田沢彦、鈴木伸治、高橋新平、豊田裕道、中村 徹、渡邊三津子（以上、理事）、石川祐一、今村 薫、岩本 彰、牛木久雄、川端良子、北村義信、児玉香菜子、白石雅美、菅沼秀樹、田島 淳、橋 隆一、縄田浩志、平田昌弘、藤巻晴行、的場泰信、三木直子

現評議員以外の参加者：

田中 徹（監事）、安部征雄（顧問）、安部 豊、入江光輝、真田篤史、篠原 卓、森 卓、依田清胤（以上、次期評議員予定者）、三角誠司、齋藤哲治（以上、オブザーバー）

I. 審議事項

1. 2019 年度事業報告・決算報告・会計監査について
 - ・ 資料に基づき確認がなされ、承認された。
 - ・ 学会員減少対策の効果について、分析を行うべきとの意見、また学会の魅力とメリットをアピールすべきとの意見があった。
2. 2020 年度事業計画（案）・予算（案）について
 - ・ 資料に基づき確認がなされ、承認された。
 - ・ 学会誌の冊子体による発行を年 1 回とするに至った点について、総会ではその得失等を含め丁寧な説明が必要であるとの意見があった。

II. 報告事項

1. 学会賞の表彰について
 - ・ 資料に基づき、2019 年度は該当者がなかったことが確認された。
2. 2020～2022 年度日本沙漠学会役員案について
 - ・ 資料に基づき、役員案が示された。新理事会の監事について、渡邊副会長と豊田理事が推薦された旨、報告された。
 - ・ 顧問として、安部征雄会員に継続が依頼されたことに加え、森卓会員に委嘱されたことが報告された。

Ⅲ. その他（第 144 回理事会議事録参照）

- ・ 第 31 回学術大会（岡山大学）について、開催しないこととした。これにより、大会前日に予定していた拡大編集委員会も開催しない。
- ・ 2020 年度総会を、学会 HP とメールを利用しての開催とする。
- ・ Desert Technology XIV (DTXIV) について、IDC に 1 年程度の延期を提案することとした。

学 会 事 務 局

日本沙漠学会事務局は、下記の機関において役割分担しています。用件の内容に応じて担当にご連絡下さい。

【日本沙漠学会事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F 株式会社共立内
Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 Email : jaals@kyouritsu-online.co.jp

【日本沙漠学会編集事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F 株式会社共立 三角誠司気付
Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 E-mail : jals.editorial@kyouritsu-online.co.jp

【日本沙漠学会ホームページアドレス】

<http://www.jaals.net/>

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

正会員

岩崎 えり奈 (ID : 1143, 上智大学外国語学部)

●退会会員

正会員

吉岡 大樹, 吉川 賢

●お悔み

門村 浩 名誉会員が、2019 年 6 月 30 日に永眠されました。

門村名誉会員は、1990～2003 年度に評議員を、またこのうち 5 期にわたって理事を務められ、編集委員長として学会誌・沙漠研究およびニュースレター・おあしすの礎を築かれるとともに、その充実に寄与されるなど設立当初より本学会にご尽力されました。2004 年度より名誉会員になられ、2010 年 5 月 29 日に開催された本学会創立 20 周年記念式典では、「地球変動の中の乾燥地－アフリカからの報告－」と題して記念講演をいただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

***** 賛助会員・団体会員名簿 *****

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel : 042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel : 03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	136-0071	東京都江東区亀戸 1-42-20	Tel : 03-6892-3401
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel : 0424-95-1060
